

Press Release

ネットスプリングの認証アプライアンスサーバ AXIOLE Microsoft Azure 連携の「AXIOLE for Azure 連携オプション」発表 AXIOLE for K12 プロジェクト第 1 弾

株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、LDAP ベースの認証アプライアンスサーバ「AXIOLE®（アクシオレ）」ファミリーに、日本マイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」の「Azure Active Directory」に直接連携する「AXIOLE for Azure 連携オプション」を発表し、3月26日から製品の出荷を開始します。適用される AXIOLE は、V1.18 以降になります。

ネットスプリングの AXIOLE は、LDAP、RADIUS 認証プロトコルに対応し、認証機能に特化したアプライアンスサーバ製品です。Active Directory や他の LDAP サーバとの連携機能を標準実装するとともに、Shibboleth や G Suite（旧 Google Apps）との外部連携機能をオプションで選択・追加が可能です。当初からのハードウェアアプライアンス版のほかに、仮想アプライアンス版（VMware vSphere 対応）、クラウド版（AXIOLE for Azure や AXIOLE for AWS）もラインアップされています。2006 年末の製品初出荷以来、統合的な認証機能をコンパクトに提供する設計思想と、導入運用の容易性や安定性・サポートサービスが支持され、大学・高専等、多数の高等教育研究機関で導入されてきました。最近ではテレワーク用途を始め一般企業にも導入が進んでいます。

近年、一般企業のみならず教育機関にも統合型情報共有クラウドサービス「Office 365」の大きな伸びがあり、日本マイクロソフトの Office 365 関連のメールやグループウェア（Microsoft Teams や OneNote 等）を利用するユーザが急増しています。今回の Azure 連携オプション機能の開発の背景は、これらのグループウェアの活用に不可欠なグループ属性の設定や変更作業を容易にしたいという要望によるものです。AXIOLE for Azure 連携オプション機能では、既存のオンプレミスの Active Directory へのグループ属性だけでなく Azure Active Directory 上のグループ属性も含めて個別に設定可能となります。これにより、各種グループウェアの利活用が大幅に容易となります。従来通り、AXIOLE に CSV または LDIF ファイルをインポートすることによりユーザ情報の反映が可能です。今回の AXIOLE for K12 プロジェクトは、この運用容易性を初等中等教育の現場に展開しグループウェアの利活用を大きく促進するものです。タブレットの配布だけでなく、各種多様なグループウェアの容易な利用を支援することこそ AXIOLE for K12 プロジェクトの狙いです。また、初等中等教育だけでなく教育機関全般において AXIOLE の複数サイト利用その他、AXIOLE for K12 プロジェクトとして機能追加を今後予定しています。初年度は既存ユーザでの追加導入含めて本オプション機能の 20 本以上の受注を目指しています。

【日本マイクロソフト株式会社からのエンドース】

AXIOLE の Azure Active Directory 対応を歓迎いたします。これまで、大学を中心に教育機関にて Office 365 の採用が進んで参りました。今年から政府による GIGA スクール構想の実現が始まる中で、初等中等教育機関の生徒による Office 365 の利活用が見込まれます。AXIOLE と Office 365 の組合せは、教育機関のお客様により安全で柔軟な環境をご提供できると確信しております。

日本マイクロソフト株式会社

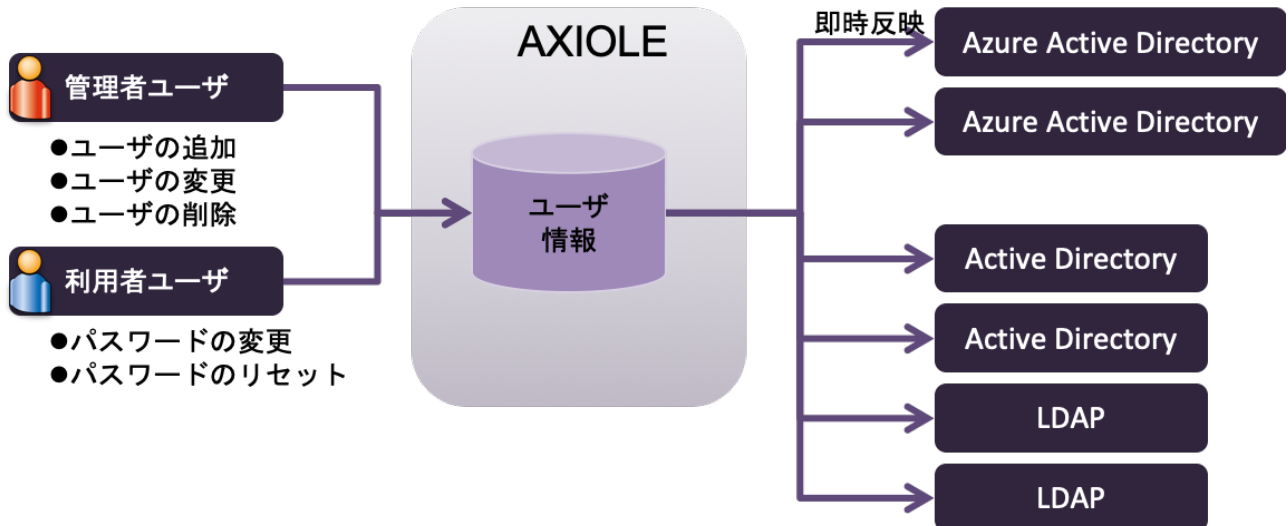
業務執行役員 パブリックセクター事業本部 文教営業統括本部 統括本部長。

中井 陽子

■AXIOLE for Azure 連携オプション機能 概要 (AXIOLE V1.18 以降対応)

- Azure Active Directory と直接連携
 - AXIOLE 上のユーザ情報の Azure Active Directory への即時反映
 - Azure Active Directory 上のグループに所属メンバーの指定が可能
 - CSV や LDIF ファイルのインポートによる Azure Active Directory への反映
 - 最大5つの Azure Active Directory と連携可能
 - AD/LDAP 連携と Azure Active Directory 連携との併用可能
- G Suite (Google Apps) 連携オプション機能との併用可能

<AXIOLE 連携概略図>



■AXIOLE for Azure 連携オプション機能 料金 (全プラットフォーム共通)

- AXIOLE for Azure 連携オプション (標準クラス)
型番: AXZ100 年間ライセンス料金: 60 万円
- AXIOLE for Azure 連携オプション (エントリークラス適用)
型番: AXZ100E 年間ライセンス料金: 30 万円
- G Suite 連携オプションとの併用割引あり
ただし、標準クラスのみ割引適用

AXIOLE 製品専用サイト: <http://www.axiole.jp/>

以上

【参考 1】AXIOLE アプライアンス版の特長・機能、およびオプション機能について

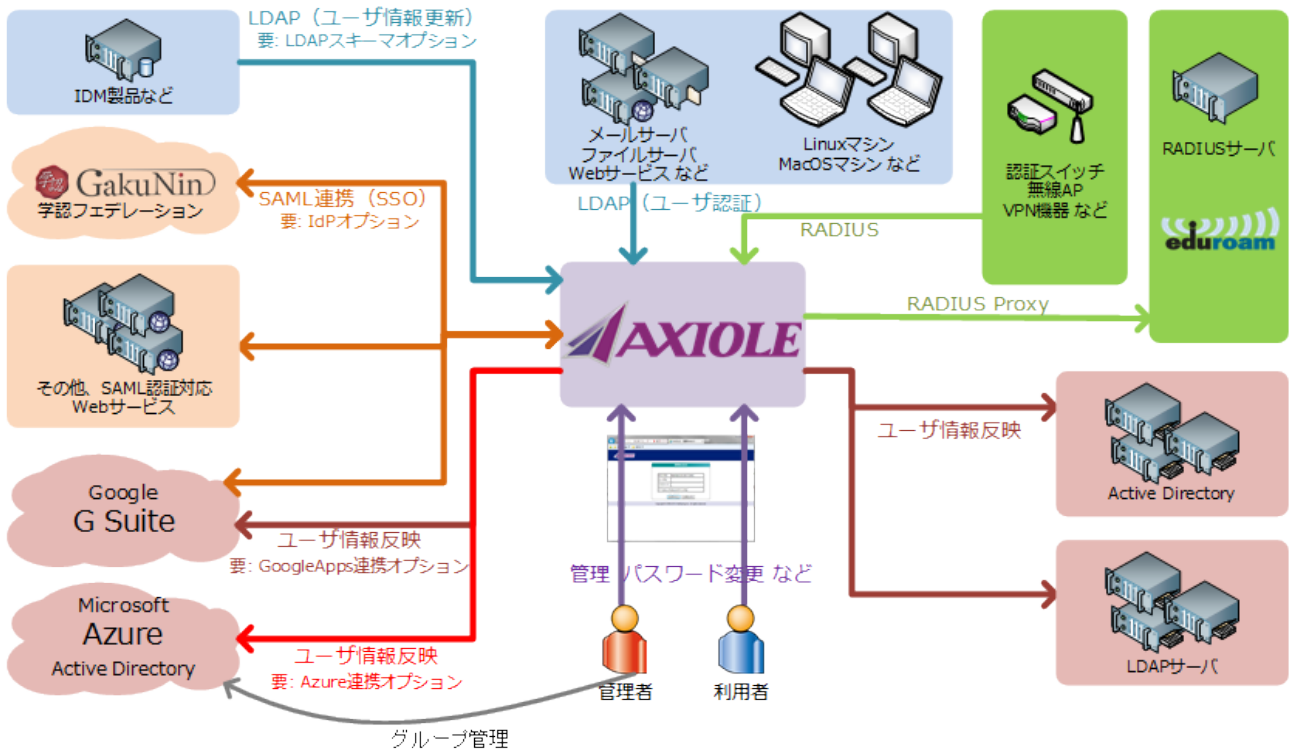
- ・LDAP ベースの認証基盤をアプライアンス形態にてマルチプラットフォーム展開
ハードウェア版、仮想版 (AXIOLE-i)、クラウド版 (AXIOLE for Azure、AXIOLE for AWS)
- ・スキーマ属性等 DB 設計が不要
- ・日本語 WebUI ベースの管理システムおよびエンドユーザ向け機能を提供
- ・RADIUS プロトコル (RADIUS プロキシ/eduroam) にも対応
- ・Active Directory (AD) と ID 同期が可能
- ・AXIOLE 2 台による冗長構成が可能 (ハードウェア版)
- ・「LDAP スキーマオプション」
 - 汎用的な LDAP 機能を組込提供 (有償)
- ・「G Suite (旧 Google Apps) 連携オプション」
 - AXIOLE と Google Apps 間の ID 同期機能を組込提供 (有償)
- ・「Shibboleth IdP オプション」
 - Shibboleth の IdP 連携機能 (IdP V3 対応) を組込提供 (有償)
 - SAML を利用した Office365 連携が可能



・AXIOLE IdP 専用モデル

- IdP のみ利用可能な専用アプライアンスモデル提供中
- マルチプラットフォーム対応 (ハードウェア版、仮想版、クラウド版)

<AXIOLE 機能概要図>



【参考 2】 ネットスプリングのその他の主な製品

- ・ eFEREC-1 / eFEREC-2 (統合エンドポイントアクセス制御装置) <SAML 認証機能付き>
eFEREC 製品専用サイト: <http://www.eferec.jp/>
- ・ SmartSignOn for eFEREC (スマートサインオン) Android 版&iOS・ iPadOS 版アプリ提供中
SSO4eF 専用サイト: <http://www.smartsignon.jp/>
- ・ SSOcube (汎用型シングルサインオンアプライアンス)
SSOcube 製品専用サイト: <http://www.SSOcube.jp/>

【株式会社ネットスプリング 会社概要】

- ・ 本社所在地: 東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F
- ・ 代表者: 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すすむ)
- ・ 設立: 2000年3月
- ・ 資本金: 2,000万円
- ・ 事業内容: ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
コンピュータネットワークに関するコンサルティング
- ・ URL: <http://www.netspring.co.jp/>

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先:
株式会社ネットスプリング マーケティング部
TEL : 03-5440-7337 E-mail : info@netspring.co.jp